

KYOWA RUBBER NEWS LETTER

拝啓 青葉の候、貴社ますますご繁栄のこととお慶び申し上げます。

共和ゴムの寺阪です。

先日メタバース、NFT(非代替性トークン)についてのZoomウェビナーを3時間受講しました。年率平均13%以上で成長し、2024年にはメタバースの市場規模が90兆円を突破すると言われております。メタバースには、Web2.0によって現行のインターネット上に構築される集中型メタバースと、Web3によってブロックチェーンで構築される分散型メタバースの2種類がある。Metaなどの



代表取締役 寺阪 剛
Takeshi Terasaki

IT大手企業は集中型メタバースにおいて現実空間と仮想空間が融合され、ここで人々が交流しビジネスが営まれ、そのためVR、AR、AIだけでなく、スパコン、自動言語解析などの開発が進められてます。メタバース空間ではデジタル土地、デジタル商品などは売買されており、仮想通貨で決済が行われており、デジタル土地は最小単位がパーセルと言われ、1パーセルは16M×16M(256㎡、約77坪)で、1パーセルの購入価格は、10,290米ドル(約130万円)位との事。購入したデジタル土地の所有権はNFT(非代替性トークン)で規定される仕組みとなっている。購入した土地に建物を建ててデジタル商品を販売するなど新しい事業をメタバース空間で行う事ができます。当然デジタル土地や建物は賃貸したり、売買したりできます。

当社はBtoBビジネスがメインで、BtoCビジネスは全体売上げの1割弱ですが、もしかしたら近い将来はデジタル土地を購入し、デジタル建物を建設し、健康関連商品や高糖度トマトなどをデジタル商品として世界中の方々に売っている可能性もあり得ます(笑)今後大きく成長することが間違いないメタバースは常に強く意識しておきたいです。10年後には今では考えられない世の中になっている可能性があるから、メタバースに関する社内研修も行うつもりです。まずは5/2に営業メンバー達で集まって、NTTドコモが3月から始めたメタバース空間「XR World」(集中型メタバースでVRゴーグル無しでできるのが特長)において、自分たちのアバターを作り、みんなでメタバース空間を散策しようと思っております。僕自身もメタバースは初体験なのでとても楽しみにしております。

典型的な中小製造業ですが、将来に備えて、色々なことにチャレンジしていきたいと思っております。

今後とも何卒宜しくお願い致します。

敬具



<http://www.kyowa-r.com/>

KYOWA
RUBBER
NEWS
LETTER

共和ゴムニュースレター 第77号

2022年5月発行

ニュースレターのバックナンバーは
弊社ホームページでご覧いただけます。

共和ゴム株式会社

Tel. 072-855-1039(代表) / Fax. 072-855-1090(代表)

本社

〒573-0102 大阪府枚方市長尾家具町3丁目4番地3

東京営業所

〒103-0027 東京都中央区日本橋2-15-3日本橋HYビル4F

栃木事業所

〒323-0057 栃木県小山市南小林439

島根よしか工場

〒699-5522 島根県鹿足郡吉賀町七日市459番地1

当社はSDGsの開発目標17すべてにアプローチしております



管理者養成学校 研修報告

管理者養成学校の「管理者養成基礎コース」に武政、道上、松下、志賀、廣部の計5名が無事卒業しました。

最大3日間の補講がある中、弊社5名は最大で1日の補講で全員卒業となり、卒業した5名全員と会うことができました。

基礎コースは卒業となりましたが、得たもの、感じた物事をこれから活かせるように取り組んでいってほしいと思います。



3年前に「フレッシュマン颯爽研修」を修了した2名の賞状と合わせて弊社会議室に掲げております。

営業部 武政 恭平

皆様、平素より大変お世話になっております。

共和ゴム(株)本社営業部の武政です。

私を含めて弊社から5名(営業部2名・製造部3名)で、約2週間、静岡県富士宮市にある管理者養成学校に行つて参りました。

この学校はTVなどマスコミにも取り上げられる程、有名な学校です。弊社参加者合わせて計11名で集団生活をしてました。

起床は5時30分、就寝は22時30分と時間が決められていて、食事・風呂以外の起きている時間のほとんどを訓練や課題に費やしておりました。

Youtubeでも「地獄の特訓」と調べれば多数ヒットします。

動画を見ればほとんどの方が「訓練が大変そう」、「時間管理が大変そう」と思われると思います。

実際に体験してみて訓練も時間管理も大変だと感じましたが、何よりも「自分自身の弱みと向き合う事」がしんどく大変でした。

私自身の弱みを真剣に考え、向き合えた事でやっとスタートラインに立てた様な気持ちです。今後継続して自身の弱みと向き合い続けて弱みを強みに変えていきます。

この場をお借りして改めて御礼申し上げます。

このような普段では経験出来ない機会を与えて下さった寺阪社長、長期不在中に私の仕事を代わりに対応して下さい下さった共和ゴムの皆さん、本当に有難う御座いました。

お客様の皆様、協力会社の皆様、無事に卒業して戻って参りました。

お会いした際は管理者養成学校の事何でもお聞き下さい。

引き続き、宜しくお願い致します。

営業部 道上 隼人

皆様、お世話になっております。

本社営業部の道上です。

3/16~3/29まで管理者養成学校基礎コースに参加させて頂き、無事に修了証書を勝ち取り帰ってくる事が出来ました。本当は3/28までだったのですが期間内に卒業資格を勝ち取ることが出来ず1日補講を受けての卒業でした。自分にとって本当に人生の糧となり貴重な経験をさせて頂きました。社長はじめ、不在の間サポートして頂きました会社の皆様には感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございます。

今回は製造部3名、営業部2名の計5名で参加させて頂き、訓練期間中は本当に切磋琢磨し乗り切ることが出来ました。また、一人も欠けることなく全員で修了証書を勝ち取れたことに大きな意味があると思っています。今回の訓練で自分が一番強く感じたことは、一人でやることは限られており、仲間の力を借りないと達成することが出来ない事の方が多いという事です。実際に訓練序盤は課題に対して自分一人では出来るという気持ちでしたが、訓練終盤は共和ゴムメンバーはもちろん、班員みんなの力を借りていました。この気づきは今回の訓練だけでなく、間違いなく会社に戻っても生かせることだと思っています。営業部だけではできない事、製造部だけではできない事、また営業部と製造部だけでもできないことはたくさんあります。日頃から社長が仰っている「全部署最適」という言葉を強く意識して会社全体で助け合いながら日々の業務に取り組んで参ります。

最後に、日頃よりお力添え頂いております皆様、本当にありがとうございます。皆様に喜んでいただけるように、信頼して頂けるように日々精進してまいりますので、引き続き宜しくお願い致します。

製造部 松下 和弘

いつもお世話になっております。

製造部の松下です。

私は今回、静岡県富士宮市にある管理者養成学校の基礎コースに弊社の5名の仲間と共に参加させて頂きました。そして合計11名の班友と共に約2週間の集団生活をしました。起床・就寝・食事・風呂等の時間がきっちり決められた中、限られた時間の中でどの様にすれば良いかを常に考えて行動をする日々でした。そして苦手な事でもまず「やる」という一歩を踏み出す、やらなければ何も始まらないという事を知っておきながら行動をしていなかった自分自身と向き合う日々でした。その中で苦手な事でも努力をする事で苦手な自分の強みに変えられるという事を体験が出来ました。そして独りでは出来ないであろう事でも仲間と協力し合う事で出来るという事もありました。今回の研修で弊社・協力会社の方の協力がある事で良い製品が出来るという事を改めて感じました。今回、このような経験を得られる機会を与えて下さった寺阪社長、そして共和ゴムの仲間には感謝の気持ちでいっぱいです。今回の経験を常に意識し、弊社・お客様・協力会社が笑顔になれる様に心掛けて参ります。

これからも宜しくお願い致します。

製造部 志賀 修平

いつもお世話になっております。

製造部の志賀修平です。

私は、最初は管理者養成学校に行きたくないという気持ちでした。行って自分にプラスになるのだろうか?とっていました。しかし、行ってみるとプラスになることが多くありました。課題の暗記が苦手でしたが、班友と一緒にやることで覚えるのが速くなり、また、間違った所をすぐに指摘されて修正がすぐにできました。一人でできないことも協力することによりスムーズに出来ました。40キロ夜間行進では完歩出来るか心配でしたが、周りの班友の励ましで完歩できました。次の日の体はボロボロでしたがやり遂げたという達成感がありました。私は前職で機械加工をしていました。その時は、自分の仕事だけを考えていました。しかし、管理者は他の部署との連携を大事にしないと、会社がうまく機能しないことを知りました。今後、私は自分の技術力アップをし、今後入社してくる方々にレクチャーします。

この度、私の為に2週間という長い時間をいただきありがとうございます。

製造部 廣部 有紀

いつもお世話になっております。

共和ゴム株式会社製造部の廣部です。

私は13日間の管理者養成学校での特訓で学んだことがあります。

一つ目は最後まで諦めずにやり遂げることです。今までは苦手な仕事に対してすぐに諦めていました。そして訓練中でもスピーチ審査でも苦手意識を持っていました。その為スピーチ審査は不合格が続いていました。それは「これは苦手だから無理」と自分勝手に判断していたからです。その苦手意識をなくすため、スピーチ審査を最後まで諦めずに練習量を増やし、審査に臨みました。その結果合格を勝ち取ることが出来ました。今後は苦手な仕事でも与えられた就業時間の中で最後まで諦めずに取り組みます。

二つ目は仕事に真剣に取り組むことです。今までは現状を考えずに好き勝手に行動していました。そして訓練中でも現状を把握せずに取り組んでいました。その為池内先生から「共和ゴムから参加している5人のなかで一番遅れているぞ!」と指摘されました。それは「このくらいでいいだろう」と自分勝手に判断をしていたからです。そう言われた時はとても悔しかったです。その後は訓練に真剣に取り組みました。その結果、13日で修了出来ました。今後はどんな仕事であっても真剣に取り組めます。そして学んだことを活かして、後輩を指導し、会社に貢献します。

今後とも宜しくお願い致します。